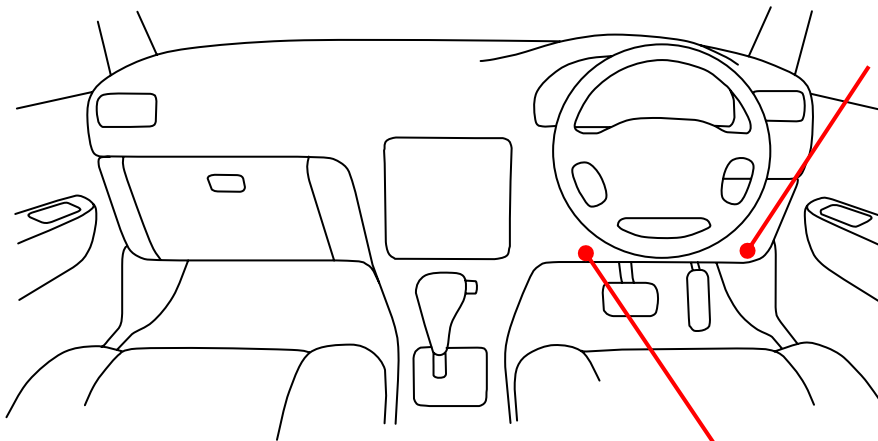


オールインワンパッケージ専用モデル 車種別接続情報 AIS-0005 (1/6)

メーカー	スズキ	車体型式	MK系
車種	パレット (SW含む) (プッシュスタート装備車)	年式	H20.1~H25.2

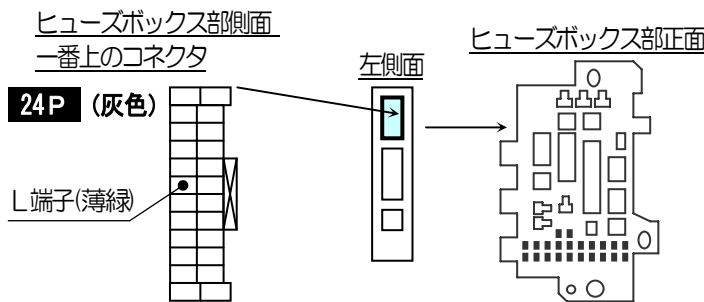
- プッシュスタート無し車には、取付できません。
- ドアロック制御の取り付けはできません。
エンジンスターターでのアイドリング中は、純正キーレスでのロック/アンロック操作ができません。
車両に乗車する際は、一旦リモコン操作でエンジンを停止させてください。
- ターボタイマー機能は使用できません。(設定は OFF のままご使用ください)



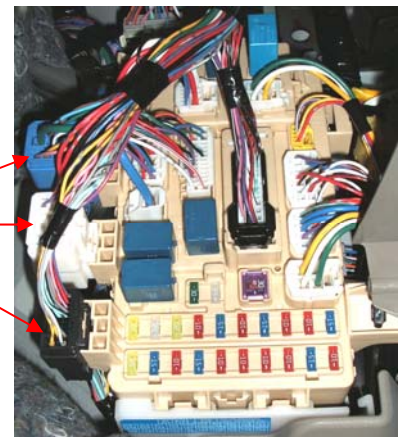
接続先 1
(ヒューズボックス)
メインハーネスを接続します。
※S-117 同等品が付属されております

接続先 2
(故障診断コネクタ)
センサーハーネスから出ている緑線、橙線を接続します。

< オルタネータ線を接続する場合 >

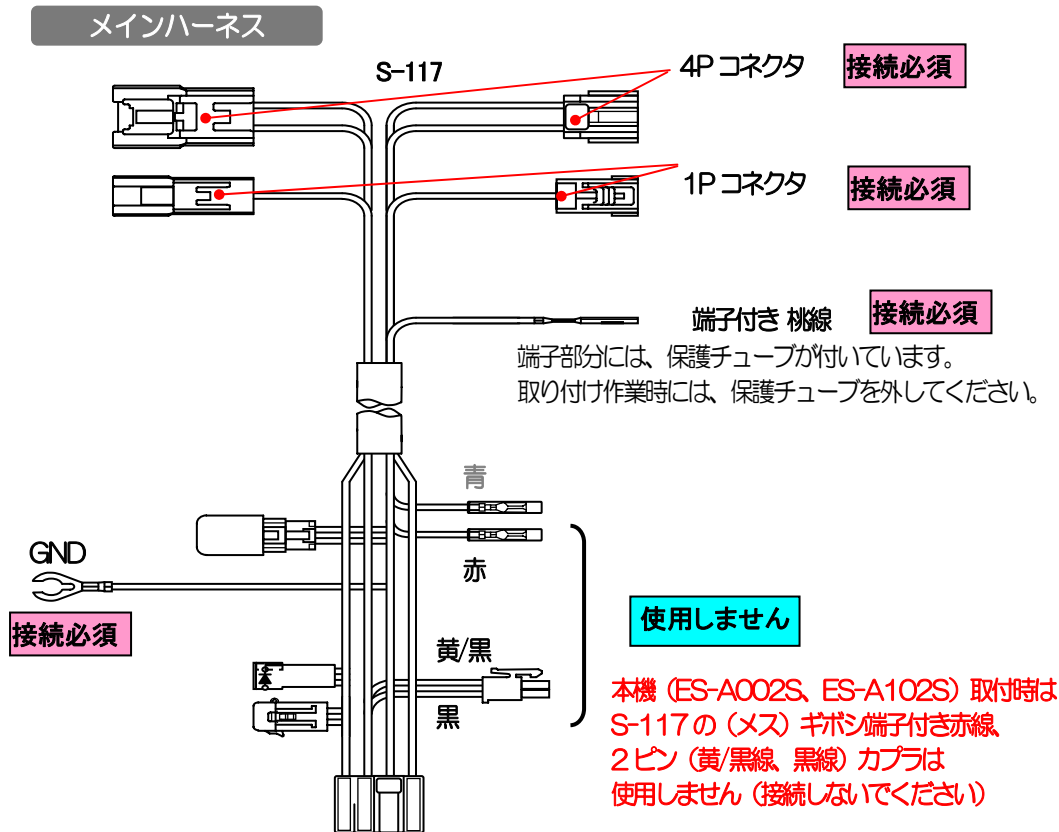


Ⓛ端子を接続する場合、足元ヒューズボックス部 (エンジンルーム側) に中継コネクタが3つ、ヒューズボックスに付いています。
その中継ケーブルをヒューズボックスから外すと手を入れるスペースができて作業が行えます。
なお、側面のコネクタを外す時、コネクタは直接目視できません。



メーカー	スズキ	車体型式	MK系
車種	パレット (SW含む) (プッシュスタート装備車)	年式	H20.1~H25.2

メインハーネスの接続



接続手順

S-117 の取り付け手順 (接続先は運転席足元ヒューズボックス部内となります)

1. S-117 の 1P コネクタと 4P コネクタの接続
2. S-117 の端子付き 桃色線の接続 の順に作業を行ってください。

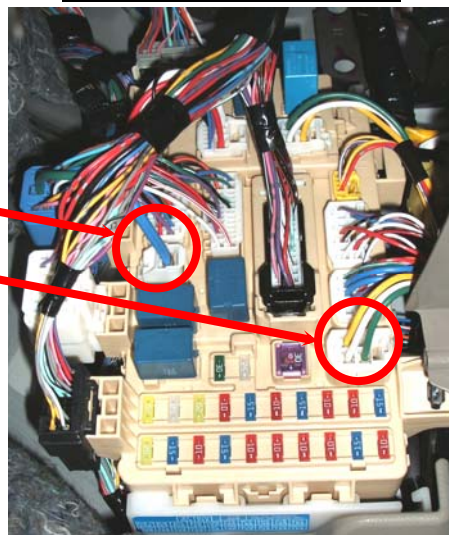
1. S-117 の 1P コネクタ、4P コネクタの接続について

S-117 1P コネクタ接続先

S-117 4P コネクタ接続先

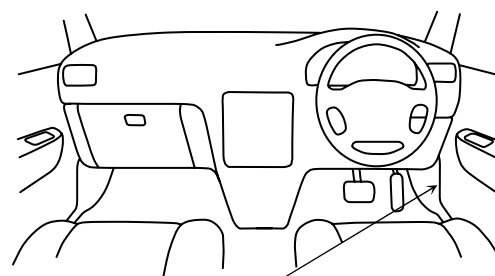
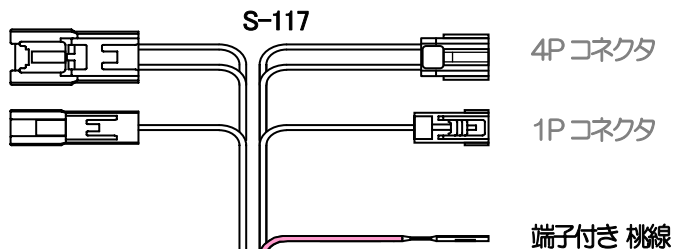
S-117 の 1P コネクタ、4P コネクタは、
車両のコネクタを外し、間に割り込ませ
接続します。

運転席足元のヒューズボックス部



メーカー	スズキ	車体型式	MK系
車種	パレット (SW含む) (プッシュスタート装備車)	年式	H20.1~H25.2

2. S-117の端子付き桃色線の接続について



運転席足元のヒューズボックス部

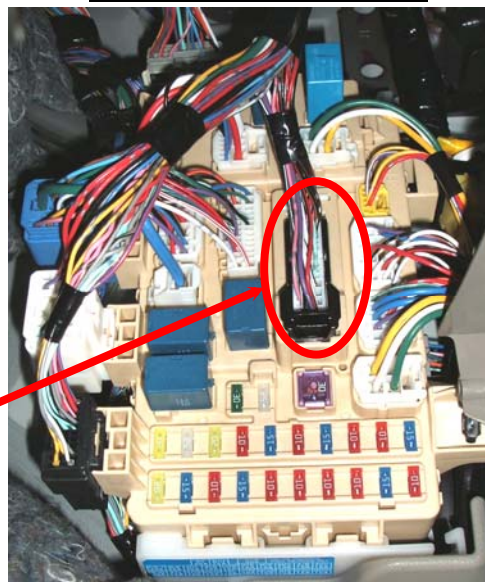
S-117 端子付き桃線の接続について

右記写真の (レバー付き) コネクタに配線を接続します。
下記の手順でコネクタに配線を差し込む準備を行います。

作業手順

- レバーを引き起こし、コネクタを外す
- レバー部分をコネクタから外す
- コネクタ (側面) のリテーナーを浮かす
- S-117の端子付き桃線をコネクタに差し込む
- 外した手順と逆の手順で元に戻す

S-117 端子付き桃線の接続先
(レバー付きコネクタ)

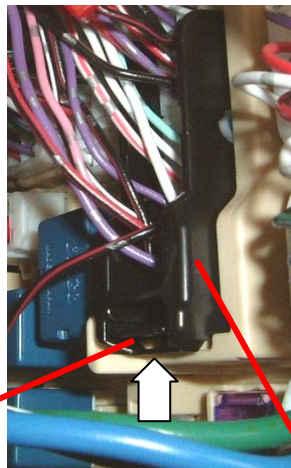


← エンジンルーム側

A. レバーを引き起こし、コネクタを外す

レバーのロックを (写真矢印の方向に) 外しながら、レバーを約45度まで起こします。
コネクタをヒューズボックス部から取り外します

ロック



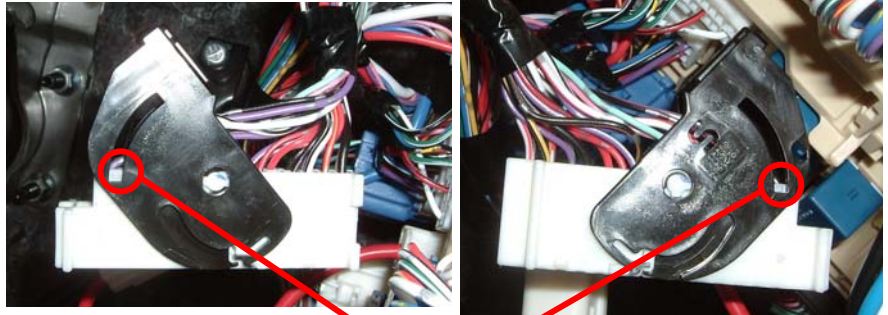
レバー

オールインワンパッケージ専用モデル 車種別接続情報 AIS-0005 (4/6)

メーカー	スズキ	車体型式	MK系
車種	パレット (SW含む) (プッシュスタート装備車)	年式	H20.1~H25.2

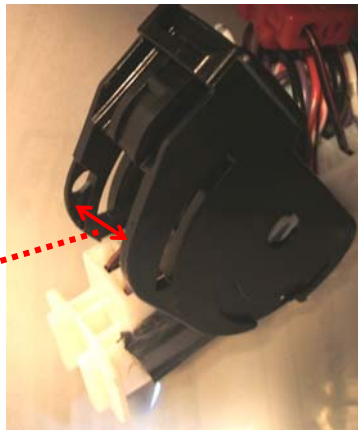
B. レバー部分をコネクタから外す

レバーの両側を広げてツメを外しながら、レバーを約90度まで起こします。



ツメ (左右両面に有ります)

左右に広げる
レバーの両側を広げてツメを外す。



約90度起きた状態

レバーを約90度まで起こしたら、レバーの側面（左右）にあるカギ穴とコネクタのツメを合わせ、コネクタからレバーを外します。



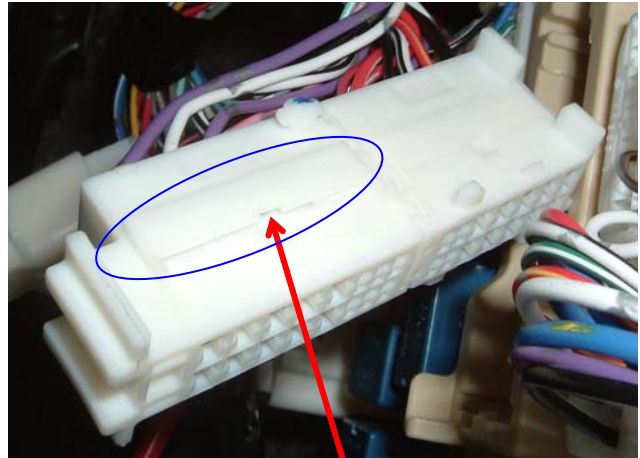
カギ穴

メーカー	スズキ	車体型式	MK系
車種	パレット (SW含む) (プッシュスタート装備車)	年式	H20.1~H25.2

C. コネクタのリテナーを浮かす

コネクタ側面にあるリテナーに先の細い精密ドライバなどを押し当て、リテナーを浮かせます。

(リテナーを浮かせないとS-117の端子付き桃線がコネクタに差し込めません)



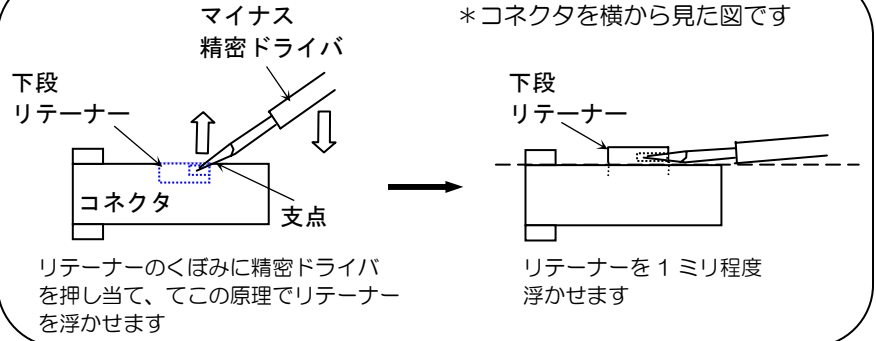
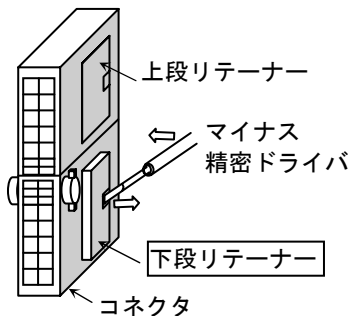
*青丸部分 下段リテナー

この部分に精密ドライバなど先の細いものを押し当て、てこの原理でリテナーを浮かせます。(1ミリ程度浮くようにします)

<注意事項>

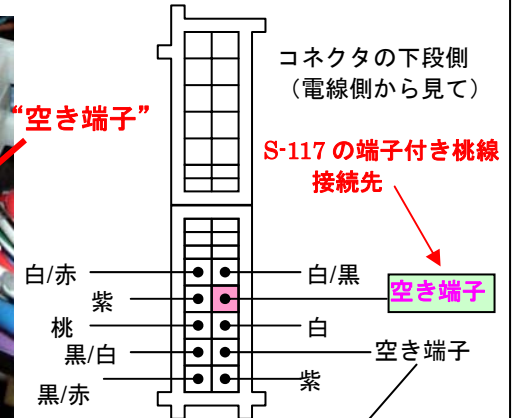
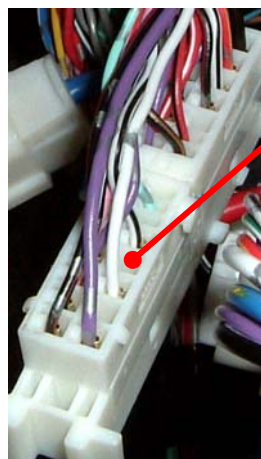
- ・無理に力を掛けしないでください。
リテナーが破損する可能性があります。
- ・リテナーは本来、コネクタから外れません。
コネクタから外れると元に戻りません。
- ・リテナーを引っ張らないでください。

リテナーの浮かせ方(てこの原理を使用した方法)



D. S-117の端子付き桃線をコネクタに接続する

右の写真(空き端子)の場所にS-117の端子付き桃線を差し込みます。(端子付き桃線についている保護チューブを取り外してから差し込んでください)



車両装備品により配線の有無が異なる
空き端子になっている場合、
間違えないようご注意ください

S-117 端子付き桃線の接続

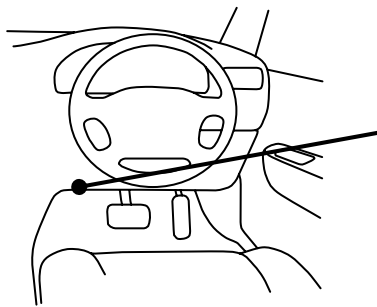
- ・端子位置、周りの配線色を確認し、
確実に作業を行ってください。
- ・端子の向きが合っていないとコネクタ
に挿入できません。
- ・「カチッ」と音がするまで差し込みます。
差し込んだ後、軽く引っ張り抜けにくい
ことを確認してください。

メーカー	スズキ	車体型式	MK系
車種	パレット (SW含む) (プッシュスタート装備車)	年式	H20.1~H25.2

E. 外した手順と逆の手順で元に戻す

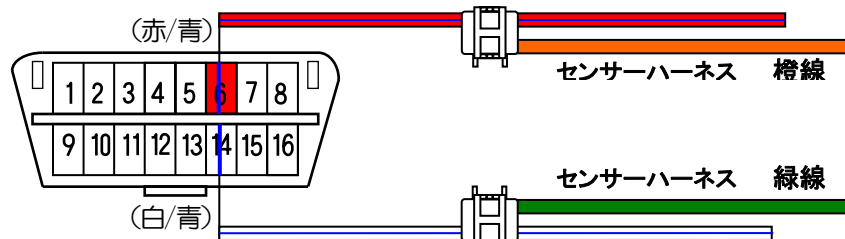
- ・リテナーを元に戻します。(浮かせたリテナーを押し込みます)
→リテナーが元に戻らない場合、配線が奥まで差し込まれていません。
- ・コネクタにレバーを取り付けます。
→取り外した手順と逆の手順でレバーを取り付けます。
- ・コネクタをヒューズボックスに取り付けます。
→取り付け後、軽くコネクタを引っ張り確実に接続されていることを確認します。

センサーハーネス 緑線、橙線の接続



ステアリング左下に故障診断コネクタがあり、故障診断コネクタの通信線にセンサーハーネスの緑線、橙線を接続します。

故障診断コネクタ (接合面から見て)



全ての接続が終了したら、P・ポジション検出を行ってください。

※ P・ポジション設定を行うと、同時にイモビ ID も登録されます